

関西医科大学オープンアクセス方針

(趣旨)

1 関西医科大学（以下「本学」という。）は、本学における学術研究成果を学内外へ公開することで、教育・研究の発展に資するとともに、法人の社会貢献に寄与することを目的として、オープンアクセスに関する方針を以下のように定める。

(定義)

2 本方針における学術研究成果とは、出版社・学会・学内部局等が発行した学術雑誌等に掲載された本学に所属する教職員が主たる著者である学術論文、又は著作物を含む成果物とする。

(学術研究成果の公開)

3 本学は、本学に所属する教職員により生産された学術研究成果を、学内外に無償公開する。

(学術研究成果の公開方法)

4 学術研究成果の公開について、関西医科大学学術リポジトリのほか、著者が選択する方法によるものとする。ただし、公開する学術研究成果の著作権は本学に移転せず、原著作権者に留保される。

(適用の除外)

5 次の各号いずれかに該当する学術研究成果は、本方針を適用しない。

- (1) 学術研究成果の著者より、公開に支障があると申告があったもの
- (2) 著作権等やむを得ない理由により公開が不適切であるもの
- (3) その他、公開することで教育・研究に支障をきたすもの

(適用の不遡及)

6 本方針施行以前に発表された学術研究成果や、本方針と相反する内容の契約を締結した学術研究成果については、本方針を適用しない。

(その他)

7 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関する必要な事項は、各学部の教授会の議を経て、学長が決定する。

(施行日)

8 本方針は、令和5年8月1日より施行する。